

平成30年度

環境活動レポート

対象期間 : 平成30年6月～平成31年5月



発行年月日 : 令和01年7月20日

 株式会社 高橋工務店

目 次

- 1 環境方針
- 2 事業概要 & 認証登録範囲
- 3 実施体制
- 4 環境目標
- 5 環境活動計画
- 6 環境目標の実績
- 7 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容
- 8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無
- 9 代表者による全体評価と見直し結果

1 環境方針

《環境理念》

当社は、創業以来「建設業を通じて、地域社会に貢献し、健康で豊かな生活文化の向上に役立ち、社会の信頼を得て発展する企業を目指す」を経営理念として掲げています。

美しい自然を将来に引き継いでいくため、環境に配慮した事業活動に際し、環境負荷の低減及び、環境保全活動に自主的・積極的に取り組んでいくことを誓約します。

《環境保全への行動指針》

1. 二酸化炭素排出削減の推進

本社・建設現場の機器、重機、車両等の省エネ運転を実施します。

2. 廃棄物削減と資源の有効利用の推進

建設廃棄物を適正に処理し、また事務用品等の節約・再利用を実施します。

3. 総電力使用量・総排水量の削減

本社・建設現場での無駄な使用を控え、節電・節水に努めます。

4. 自らが施工する工事の環境保全に関する取組

建設現場における騒音・振動等の低減化に力を入れるなど、環境に配慮した建設事業活動に努めます。

5. グリーン調達への推進

事務用品、日用雑貨、作業服等、グリーン調達に努めます。

6. 環境コミュニケーション及び社会貢献

環境レポートの公表や、地域ボランティア活動等に積極的に参加し、環境コミュニケーションに努めます。

7. 環境関連法規制の順守

関係する環境関連法規制は常に最新のものに更新し、当社はこれを遵守します。

以上、環境方針は全従業員に周知徹底いたします。

制定日：平成27年7月24日

株式会社 高橋工務店

代表取締役社長 高橋 勢治

2 事業概要&認証登録範囲

1 名称及び代表者名

株式会社 高橋工務店 代表取締役社長 高橋 勢治

2 所在地

本 社：〒031-0802
青森県八戸市小中野8丁目3-4
TEL 0178-22-7105 FAX 0178-22-7107
資材置場：〒039-1103
青森県八戸市長苗代字大古殿16

3 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 総務部 部長 佐々木 謙之助
環境事務局 総務部 高橋 祐樹

4 事業活動の内容

総合建設業 土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、ほ装工事業、解体工事業
一級建築士事務所 (株)高橋工務店一級建築設計事務所

5 事業規模

従業員数 28名 (R01.7現在)
延べ床面積(本社) 750㎡
資本金 3,000万円

売上高(百万円)

H28年度	H29年度	H30年度
951	1,191	951

6 認証登録範囲

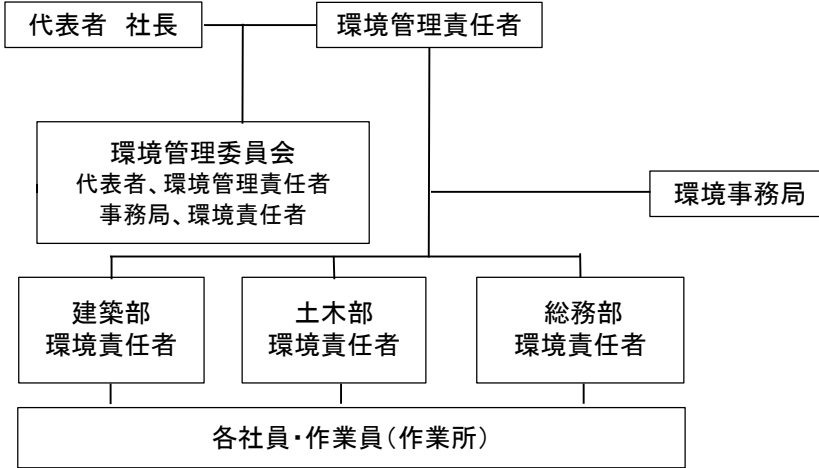
対象範囲 株式会社高橋工務店の全組織・全活動

7 会計年度

6月から翌年5月まで

3 実施体制

1 組織



2 役割・責任・権限

役職	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任。
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。
	・環境管理責任者を任命。
	・代表者による全体の評価と見直しを実施。
	・環境方針の策定。
環境管理委員会	・委員長は代表者とし、環境管理責任者が召集する。
	・環境管理責任者の提案を審議し、決定事項を環境責任者は各部門で実施する。
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理。
	・環境活動の取組結果を代表者及び環境管理委員会へ報告。
環境事務局	・環境管理責任者の補佐。
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
	・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
	・取組データの集計、取りまとめ及び文書記録類の管理。
環境責任者	・担当部門について環境経営システムを実施し、維持する。
	・省資源、省エネ、節水等の奨励・実施・確認・是正。
	・従業員に対する教育訓練の実施
全社員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、能力向上に努める。
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

4 環境目標

1 主な環境負荷の実績

表1、主な環境負荷等の実績

項目	単位	平成27～平成29 (基準年)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
購入電力使用量	kwh	73,367	104,781	51,242	53,782
ガソリン使用量	L	10,597	11,218	9,433	11,215
軽油使用量	L	25,409	31,128	16,802	31,046
灯油使用量	L	11,604	17,685	6,304	6,001
LPG使用量	kg	177	164	158	79
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	163,097	190,165	112,462	150,768
総排水量	m ³	199	226	213	816
化学物質使用量	kg	-	12,925.77	1,953.6	2,783.0
一般廃棄物排出量	t	0.36	0.35	0.25	0.25
産業廃棄物(最終処分量)排出量	t	41.94	181.85	103.47	977.38
建設副産物のリサイクル率	%	93.22	79.42	96.74	66.24
手戻り工事クレーム件数	回	0	0	0	0
グリーン調達	品種	40	48	62	88
ボランティア	回	1	1	1	1
地域清掃	回	4	9	6	7
事務所内緑化活動	本	35	40	38	38

注:排水量の測定はしていないので、水使用量から散水量を削減して求めた。

購入電力の二酸化炭素排出係数は環境省報道発表(H29/12)の東北電力の実排出係数 0.548kg-CO₂/kwhを使用。

2 環境目標の設定

当社では、平成27年度から平成29年度の平均を基準として中期及び単年度の環境目標を、それぞれ設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2 環境目標

項目	平成27～平成29		中期目標(内単年度目標)		
	基準値	単位	平成30年度	令和01年度	令和02年度
購入電力使用量	73,367	kwh	70,432	69,699	68,965
ガソリン使用量	10,597	L	10,173	10,067	9,961
軽油使用量	25,409	L	24,901	24,646	24,392
灯油使用量	11,604	L	11,488	11,488	11,488
LPG使用量	177	kg	170	168	167
二酸化炭素排出量	163,097	kg-CO ₂	156,574	154,942	153,311
総排水量	199	m ³	195	193	191
化学物質使用量	-	kg	定期的に確認する		
一般廃棄物排出量	0.36	t	0.35	0.34	0.34
産業廃棄物(最終処分量)排出量	41.94	t	43.20	43.41	43.62
建設副産物のリサイクル率	93.22	%	95	95	95
手戻り工事クレーム件数	-	回	0	0	0
グリーン調達	40	品種	46	48	50
ボランティア	1	回	1回	1回	1回
地域清掃	8	回	9回	9回	9回
事務所内緑化活動	24	本	26本	28本	30本

5 環境活動計画

当社では、環境方針に基づき二酸化炭素、廃棄物、水使用量を削減し、環境目標を達成するため、従業員が一丸となって省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル及び節水等に取り組んでいます。

表3 主な環境活動計画の内容と取組結果

項目		取組内容
二酸化炭素排出量の抑制	電力の二酸化炭素排出量の削減	<p>昼休み時や使用していない部屋等の照明消灯と、事務室の部分照明の実行</p> <p>冷暖房の温度調整(冷房28℃、暖房20℃)の推進</p> <p>ドアの開け放し防止の徹底と、ブラインドや窓の開閉による室内温度の調整</p> <p>使用していない部屋の空調の停止</p> <p>OA機器や照明器具等の省電力型への切り替え</p> <p>節電の表示を行う</p>
	車輜・建設機械燃料等の二酸化炭素削減	<p>アイドリング禁止や急発進・急加速はしない等、エコドライブの励行</p> <p>タイヤの空気圧の確認等、適正な車両整備の実施</p> <p>最大積載量に見合った輸送単位の設定</p> <p>建設機械の省エネ運転の励行</p>
	灯油・LPG等の二酸化炭素の削減	<p>暖房の温度(暖房20℃)の推進</p> <p>ドアの開け放し防止の徹底と、ブラインドや窓の開閉による室内温度の調整</p> <p>使用していない部屋の暖房停止の実行</p>
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物の削減	<p>コピーをする際の必要枚数の把握、使用済み用紙の裏面利用、両面印刷の徹底</p> <p>ネットワークを利用した文書のやりとりや共有による不要な印刷物の削減</p> <p>コピー用紙等、資源ごみへの分別を徹底するよう、啓発文書を定期的に配布する</p> <p>資源ごみを分別保管し業者へ引渡しを行い、リサイクルを徹底する</p> <p>コピー機のトナーカートリッジの回収、リサイクルの推進</p> <p>使い捨て製品の購入や使用を抑え、再利用できる製品を優先的に購入・使用する</p>
	産業廃棄物(建築副産物)の削減	<p>一般廃棄物の混載防止のための定期チェック</p> <p>産業廃棄物管理票(マニフェスト)をもとにした廃棄物の適正な処理</p>
排水	水道水の削減(節水)	<p>節水の表示を行い節水を徹底</p> <p>蛇口等の設備の確認</p> <p>場内側溝の油分、ゴミなどの浮遊物を除去する等、工事濁水による水質汚濁の防止</p>
環工環境配慮	環境保全の取組	<p>低騒音・低振動型建設機械等の使用</p> <p>工事用車両出入口の泥等のこまめな清掃</p>
その他	グリーン調達	環境に配慮したグリーン購入法の適合商品の購入、使用の推進
	社員教育	<p>定期的に全体会議での周知徹底</p> <p>緊急事態訓練</p>
	地域活動	<p>ボランティア派遣</p> <p>環境緑化等によるCO2削減の貢献(事務所観葉植物等の維持・増植)</p>

6 環境目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。

今回は、平成30年度(H30.6.1～H31.5.31)の実績についての評価結果を報告いたします。

表4 当該年度の環境目標の達成状況等

項目	単位	基準値	平成30年度(H30.6～H31.5)			環境目標の達成状況
		実績値 (H27～H29)	削減(増加)率(%)	目標値	実績値	
購入電力使用量	kwh	73,367	3%削減	70,432	53,782	達成
ガソリン使用量	L	10,597	3%削減	10,173	11,215	未達
軽油使用量	L	25,409	2%削減	24,901	31,046	未達
灯油使用量	L	11,604	1%削減	11,488	6,001	達成
LPG使用量	kg	177	3%削減	170	79	達成
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	163,097	3%削減	156,574	150,768	達成
総排水量	m ³	199	2%削減	195	816	未達
一般廃棄物排出量	t	0.36	3%削減	0.35	0.25	達成
産業廃棄物(最終処分量)排出量	t	41.94	2%削減	43.20	977.38	未達
建設副産物のリサイクル率	%	93.22	1.5%増加	95.00	66.24	未達
ボランティア	回	1	1回	1	1	達成
地域清掃	回	8	5回	9	7	未達
事務所内緑化活動	本	24	36本	26	38	達成

環境活動の状況



現場での教育状況



あおり農業・農村支援CSR



ボランティア活動(地域清掃)



ボランティア活動(道路清掃)



空調設備の温度調整



空調設備の温度調整



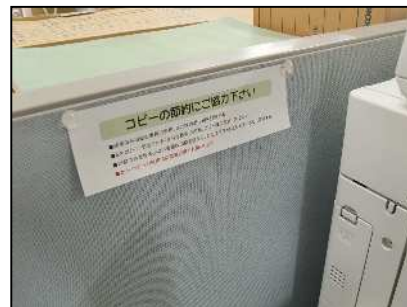
節電の表示



節電の表示



節水の表示

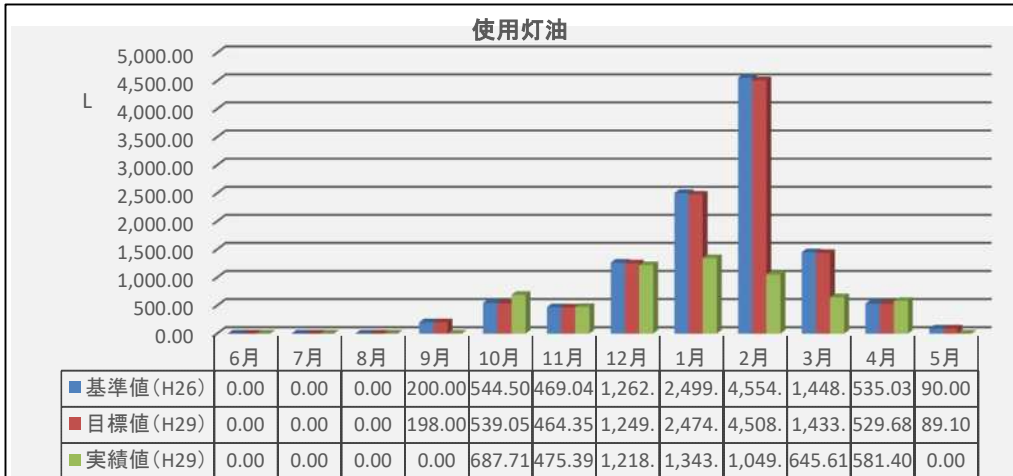
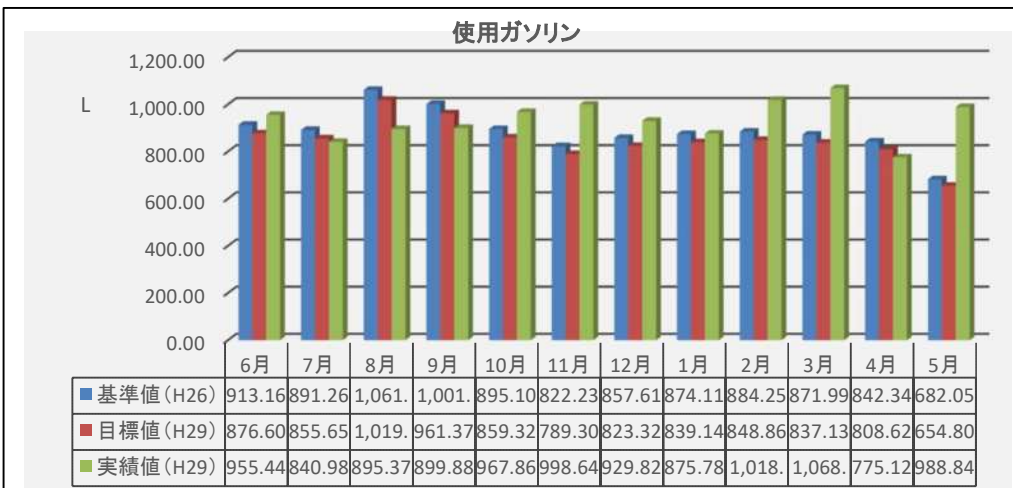
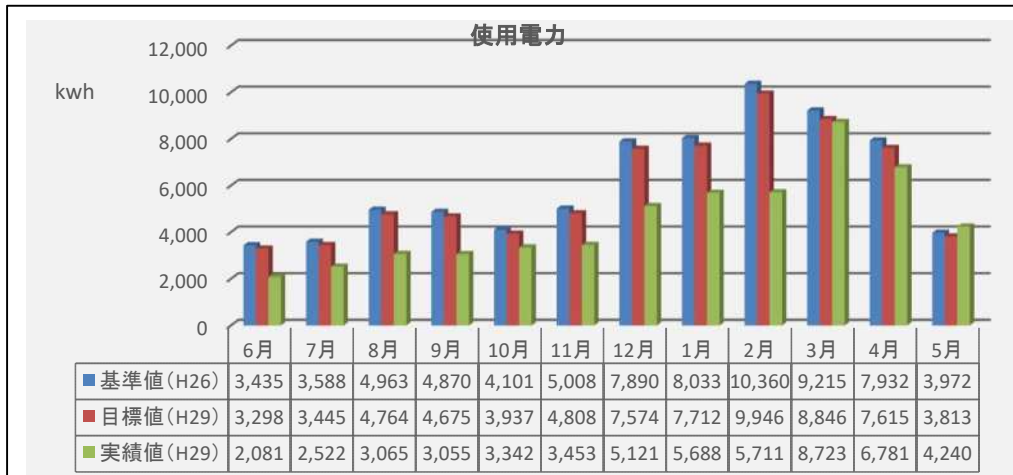


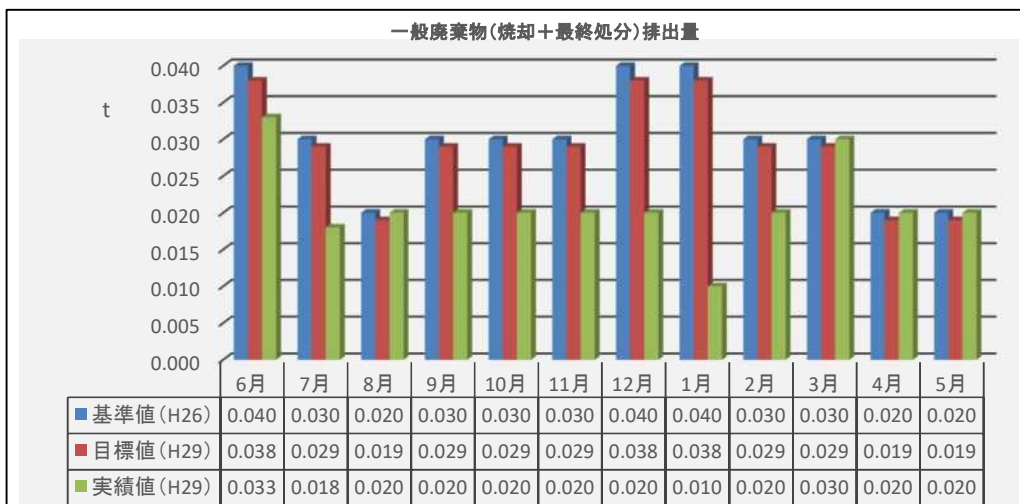
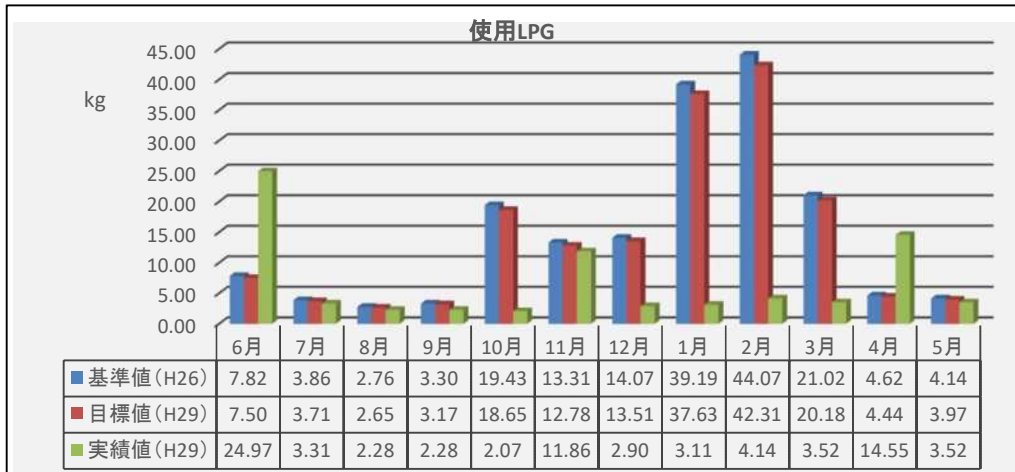
コピー節約等の表示

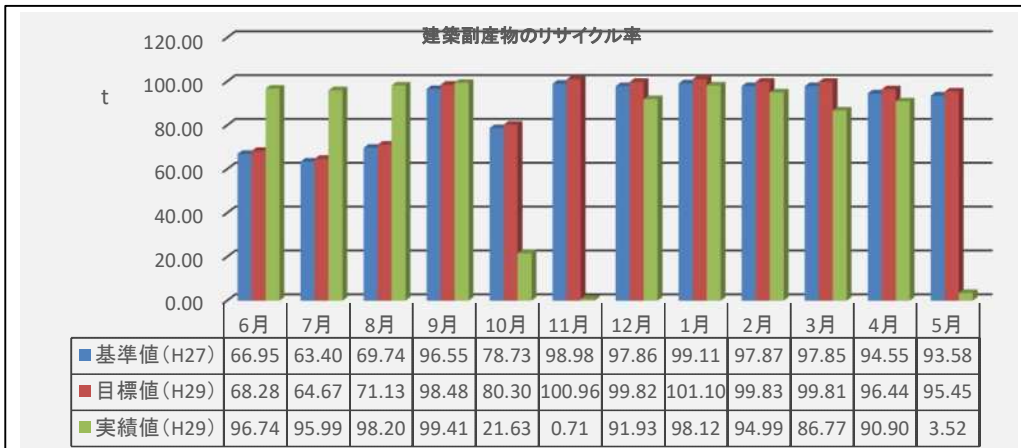
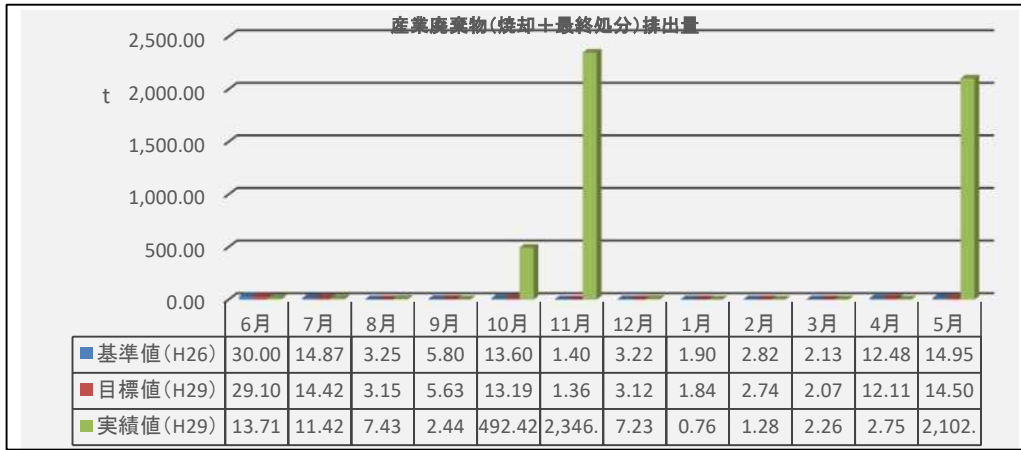


ゴミ分別(キャップ・プルタブ)

目標と実績グラフ







7 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

取組結果の評価

表5 主な環境活動計画の内容と取組結果

項目	実施状況の評価	達成度	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の抑制	電力の削減	受注した工事現場による電力の大量使用はあったものの、削減できた。	○ 引続き取組みを進めていく。
	車両・建設機械燃料等の削減	重機使用の現場を多数受注したためガソリン、軽油共に使用量が増加した。	△ 省エネ運転を更に心がけていく。
	灯油・LPG等の削減	冷暖房機入れ替えの効果と、使用温度の最適化を心掛けたため削減できた。	○ 引続き取組みを進めていく。
排出物抑制	一般廃棄物	前年度の是正処置により、削減できた。	○ 引き続き取組みを進めていく。
	産業廃棄物	道路改良工事や土地区画整備工事等の影響が大きい。	△ 更なる取組みを進めていく。
節水・排水	用水・排水	特殊工法現場の影響が大きい。本社で見れば差異はない。	△ 更なる取組みを進めていく。
環境工事配慮	環境保全の取組	昨年本社の冷暖房機の入替えを行った。実績を把握していく。	○ 更なる取組みを進めていく。
その他	グリーン調達	よく購入する製品が対象であるかを把握し、購入し続けている。	○ 他にグリーン商品へ切り替えられる製品がないか、確認していく。
	社員教育	適切に行われている。	○ 更なる取組みを進めていく。
	地域活動	地域ボランティアへの参加・環境緑化に対する取組が行われているが、工事等の都合により未達となった。	△ 更なる取組みを進めていく。

○:評価できる、△:まずまず評価できる、×:評価できない

8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける、環境関連法規について遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。

また、創業以来、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟等について、問題がありませんでした。

9 代表者による全体評価と見直しの結果

全体としては、システムに問題はない。

目標未達については、工事受注の影響によるところが多く、こちらで挙げた是正処置を実施出来るか確認し、かつ、取組内容の実施率を向上することにより、目標達成へ向け努めていきたい。

活動計画の基準値はこのままの設定で継続し、それに向けて努め、自然環境への負荷低減と地域社会への益々の貢献を全社挙げて取り組んでまいります。

見直し項目	評価	改善及び指示
①環境方針	方針については概ね良好。	特になし。
②環境目標	H30年度では未達が6項目となった。	活動計画の取組内容に全力で取り組む。 また、H27～H29年度を平均値とした基準値で引き続き令和01年度分も取り組んでいく。
③環境活動計画及び環境経営システム	本社冷暖房機入れ替えの効果と、使用温度の最適化を心掛けることができた。	引続き使用料の削減に努める。
④その他 ()	現状特になし。	特になし。